


適した排泄ケアでコスト削減・スキントラブル防止を目指そう


特別養護老人ホーム 小倉なでしこ苑
 発表者 池谷 彰・小林 みず紀



研究の背景

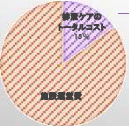
◎ 介護施設における経費の中で、排泄ケアに占める割合は大きい

- ・パッドの無駄使い
- ・入居者のスキントラブルまたは予防のためのコスト 等



適切な排泄ケアアセスメントに基づき
 ケアを実践することで削減可能ではないか？

排泄ケアのトータルコストについて知っている？



排泄ケアのトータルコスト15%のうち、
 1% ... パッド代
 4% ... パッド交換にかかる人件費
 10% ... 削減可能なコスト
 ○スキントラブルによるコスト
 ○パッドの無駄使いによるコスト 等

【参考】介護・排泄ケアのTENA
<http://www.tena.co.jp>

研究方法

実践1、 まずは、対象者3名の尿量測定を行い排泄パターンを把握する
 実践2、 スキントラブルへの対応
 実践3、 全入居者が快適に生活できる最適なパッドの選定

〓 排泄日誌を活用し、尿量測定を行う。(パッドの種類・もれの有無等も記入する)



実践3・方法(詳細)

ブロック全員を対象にパッド選定を行う

排泄日誌
 1枚で1日分を記録して下さい
 日付: _____ 起床時間: 時 分
 退室時間: 時 分

	朝起きてからの排泄まで		夜寝てからの排泄まで	
	排泄時間 (排泄のし)	尿量 (cc)	排泄時間 (排泄のし)	尿量 (cc)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

【参考】排泄日誌・・・「排泄ケアマニュアル」
 名古屋大学排泄情報センター

《実践1》

対象者の尿量測定を行い排泄パターンを把握する

特定の対象者(3名)のパッドの見直しを夜間のみ実施
 ○使用中のパッドから、ワンランク下げ試行。(※試行期間のみ夜間オムツ使用)

		19時	0時	4時
A氏	変更前	オムツ+紫	オムツ+青	オムツ+灰
	変更後	オムツ+青	オムツ+灰	オムツのみ
B氏	変更前	紫	紫	紫
	変更後	パンツ+紫	パンツ+青	パンツ+紫
C氏	変更前	紫	なし	紫
	変更後	パンツ+青	なし	パンツ+青

【目安吸収量】 紫:1250cc 青:900cc 灰:550cc

《実践2》
スキントラブルへの対応
【排泄ケアごとの皮膚チェックにて、早期発見・早期対応】

○難治性のスキントラブルの方
⇒皮膚科受診を徹底し、正しい処置・ケア方法の指示を受けた

○大きなスキントラブルのない方も・・・
⇒排泄ケア内容（パッド種類の変更・排泄パターンの把握）の見直しにより、スキントラブルが減り、軟膏の処置も少なくなった

《実践3①》
全入居者が快適に生活できる最適なパッドの選定

- ・実際の排泄量とパッドの種類に大きな差がある
- ・決まったパッドを使用出来ていない
- ・より大きいパッドを使用している傾向にある
- ・紫パッドの適度な使用が目立つ
- ・特定の対象者にスキントラブルがある
- ・日中、トイレ誘導が出来る方に関して、誘導しているときと、パッド交換をしているときがある

職員一人ひとりの排泄ケアへの意識に差があるのではないかと・・・？

《実践3②》

○再度パッドの選定を行った

○トイレ誘導が出来る方は、出来るだけトイレ誘導をし、自然排泄ができるように促す

○排泄ケアの際には必ず皮膚チェックを！
基本的なケアを確実にする！！

最終決定とする

研究結果

1・紫パッドの使用量が大幅減
○ 1か月で23,520円減に成功（※ブロック、1枚あたり）
○ とにかく大きいパッドを・・・という意識がなくなった

2・スキントラブルへの対応
○ 早期発見・早期対応
○ 統一した処置の実施でスキントラブル予防ができています

3・排泄ケアに関して意見を出しやすくなった
「Aさんのパッドはワンランク下げたら？」
「Bさんの臀部の赤みが気になるんだよね」

必要な排泄用品を選定することの重要性を共有できたのではないかと

考察

1. 紫パッドの使用量が減少した理由として①トイレ誘導の意識化②原量測定をして適切なパッドに変更したことがあげられる。
2. スキントラブルへの意識が高くなった。意識が上がったことで変化に以前より気づくようになった。例としてAさんの臀部の難治性皮膚疾患の改善がみられたことからあげられる。
3. 排泄ケアに関しての意見が出しやすくなった理由として、会議で議題としてあがり意見交換された。また個々でも排泄に関しての意見が寄せられた。

・入居者の身体状況や介助方法は常に変化するものでありその状況に応じてアプローチ内容を変更していく必要がある

・この取り組みのなかで、更なるスキントラブルの改善を図り、処置にかかる時間の短縮で入居者への他のケアに充てる時間を増やしたい

【参考資料】

- ・介護排泄のテーマ <http://www.tena.co.jp>
- ・「排泄ケアマニュアル」名古屋大学排泄情報センター

ご清聴ありがとうございました。